

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 014	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 ナシ（J V仕立て）経済性指標の作成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・ナシ生産における担い手の高齢化、労働力不足が急速に進んでいます。また、ナシが高樹齢化して生産力の低下が顕著になっています。 ・後継者の就農、老木園を改植するタイミングで、神奈川県開発のJ V仕立ての導入を検討する中で、経済性指標の必要性が高まっています。 ・また、今後「浜なし」産地維持のため、農協として新たにナシ栽培に取り組む人材を確保・育成する動きがあります。 ・上記の理由によりナシ（J V仕立て）経済性指標の作成を要望します。  ・対象地域は横浜市全域（ナシ 50 ha : 1100 t）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) V-1 (5)ア 現地実証に基づく次世代果樹生産システムの経営的評価（令和2年度）		
対応の内容等	ナシのジョイントV字トレリス樹形（以下J Vと記載）仕立てについては、導入農家が少なく、現時点では本県での標準的な経営収支及び作業時間を掲載する経済性指標の作成は困難です。J V仕立てを導入検討する際には、令和2年度経営情報試験研究成績書「現地実証に基づく次世代果樹生産システムの経営的評価」における現地実証農家の経営費、労働時間の調査結果をご参照ください。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			